

東西基幹公共交通（LRT）の
事業推進に係る要望書

平成25年9月17日
宇都宮商工会議所

はじめに

宇都宮市は、平成25年3月「東西基幹公共交通の実現に向けた基本方針」を公表しました。

宇都宮商工会議所では、東西基幹公共交通システムは、本市のまちづくりや産業・市民生活全般にとりまして大きな効果をもたらすことから、その事業推進に関する課題や提案を取りまとめ、宇都宮市に対して要望することといたしました。

要望書の取りまとめにあたりましては、当所副会頭を議長とし、会員全員が所属する10部会の部会長及び議員全員が所属する7委員会の委員長で構成する「東西基幹公共交通に関する部会長・委員長合同会議」により検討してまいりました。

私たちは、「LRT（次世代型路面電車）を宇都宮都市圏の中核的公共交通機関」と位置づけ、LRTと各地域の路線バス・各種デマンド交通・既存の鉄道等をネットワーク化することによって、これからの少子高齢社会における「暮らしやすいまちづくり（ネットワーク型コンパクトシティ）」を実現できるものと考えています。

また、公共交通ネットワークの構築のためには、JR宇都宮駅西側方面のLRTの早期着工が不可欠であり、なかでも、「JR宇都宮駅（東西口）と東武宇都宮駅との結節」は、最も重要であることから出来るだけ早い実施を望むものです。

なお、ネットワーク型コンパクトシティの具体的な土地利用計画やLRTを中核とする公共交通ネットワークの全体像、整備スケジュール、財源と収支見通し、そしてLRT整備による社会経済効果について市民、交通事業者等関係機関に積極的に情報提供し、丁寧な説明や調整をしていただくことが早期実現のための必須条件と思います。

つきましては、次のとおり要望いたしますので、これらの事項を十分に考慮し、事業を推進されるようお願いいたします。

目 次

I. 要 望	1
II. 東西基幹公共交通に関する 部会長・委員長合同会議経過	3
III. 東西基幹公共交通に関する 部会長・委員長合同会議委員名簿	4

I. 要 望

1. 「L R T（次世代型路面電車）を中核とする公共交通ネットワーク」を、宇都宮市全体の「将来の望ましいまちづくり（ネットワーク型コンパクトシティ）」を実現するための重要な施策として位置づけること

- (1) 「各種公共交通機関がL R Tを中核としてネットワークする交通まちづくり計画（将来の構想も含む）」を明らかにされ、それが宇都宮都市圏全体の「市民生活の利便性を向上させる」ことを示されたい。
- (2) 「ネットワーク型コンパクトシティの実現」に向けて、「L R Tを中核とする公共交通ネットワーク整備が果たす役割と効果」を示されたい。特に、L R Tによって、市民生活や市全体の土地利用について、どういう望ましい変化がもたらされるかを説明されたい。
また、本市で「L R Tを中核とする公共交通ネットワークが整備されなかった場合の問題点」も明らかにされたい。

2. 市民、周辺自治体を含む関係機関、交通事業者、再開発事業者、特別利害関係者等への「丁寧でわかりやすい説明と合意形成・計画調整」を早急に図ること

- (1) L R Tを含む公共交通ネットワークの全体像や整備スケジュールなど、「計画の全容を公表」し、「市民や交通事業者などへ丁寧に説明」されたい。特に、市民に向けての多様な説明の機会を積極的に設けられたい。
- (2) 事業着手のため、「早期に栃木県や交通事業者など関係機関との計画調整、合意形成」を図られたい。
また、将来、公共交通ネットワークに係る栃木県、各自治体、交通事業者等が結集して、ダイヤ調整、I Cカードシステムなど利便性を高め、公共交通全体の利用者増加を目指す施策実施のため、「運輸連合」を結成されたい。
- (3) L R Tは計画浮上からすでに20年以上が経過しており、また、市民の少子高齢化も進展している。事業をこれ以上長引かせないために、市は栃木県や交通事業者の協力も得て迅速に実現できるよう、「その組織横断的な推進体制を大幅に強化」されたい。

3. LRTのJR宇都宮駅西側方面の早期着工、特に「JR宇都宮駅（東西口）と東武宇都宮駅のLRTによる結節」を早期に実現すること

「ネットワーク型コンパクトシティ」と「公共交通ネットワーク」の実現のためには、JR宇都宮駅西側方面の早期着工が不可欠であり、中でも、「JR宇都宮駅（東西口）と東武宇都宮駅の結節」は、最も重要であることから、JR東日本や東武鉄道と鋭意調整を図り、早期に実現されたい。

4. 「LRTの社会経済効果」について充実した情報提供をすること

LRTを中核とする公共交通ネットワーク構築には多額の整備費用がかかる一方、人口の増加や産業の活性化、福祉の増進、将来の税収増など、本市にとってその「投資効果も大きい」と考えられる。ついては、市民の安全安心と利便性の向上や地球環境保全への貢献など、その投資効果について、明らかにされたい。

5. その他事業実施に当たっての留意事項

LRT事業の実施に当たっては、安全運行、定時運行への配慮、官民協働による既存商店街の活性化や産業の振興施策などにも、配慮されたい。

Ⅱ. 東西基幹公共交通に関する部会長・委員長合同会議経過

5月14日（火）第1回会議

- ・会議の設置主旨、スケジュール、市、商工会議所の検討経過等の説明、意見交換
- ・佐藤栄一宇都宮市長から基本方針の説明、意見交換

6月 7日（金）第2回会議

- ・要望の骨子の検討、意見交換
- ・荒川辰雄宇都宮副市長から交通ネットワークの説明、意見交換

＝部会、委員会からの意見（アンケート）・・・期限6月28日＝

7月12日（金）第3回会議

- ・アンケートの結果を基に意見交換
- ・関東自動車㈱からの「路線バスの現状」の説明、意見交換
関東自動車㈱取締役専務執行役 吉田 元氏
同 常務執行役 石原玲一氏

7月29日（月）第4回会議

- ・芳賀町、宇都宮市商店街連盟会長から現状説明、意見交換
芳賀町副町長坪川幹雄氏
宇都宮市商店街連盟会長斎藤高藏氏

8月23日（金）第5回会議

- ・宇都宮市LRT整備推進室との意見交換
宇都宮市総合政策部参事本橋道正氏
- ・要望案の検討

＝各方面への個別ヒアリング＝

9月 6日（金）第6回会議

- ・要望案の取りまとめ

Ⅲ. 東西基幹公共交通に関する部会長・委員長合同会議委員名簿

敬称略

議長	副会頭	須賀 英之	学校法人須賀学園	副理事長
商業小売部会	部会長	柿沼 賢	宇都宮市商店街連盟	相談役
商業卸部会	部会長	関口 快流	(株)関口	代表取締役会長
金属工業部会	部会長	武藤 俊夫	(株)ミットヨ宇都宮事業所	取締役所長
一般工業部会	部会長	谷田部 峻	谷田部石材販売(株)	取締役会長
食品工業部会	部会長	青木 直樹	青源味噌(株)	代表取締役会長
建設部会	部会長	酒井 淳	(株)酒井建築設計事務所	代表取締役会長
金融部会	部会長	菊地 正敏	(株)栃木銀行	専務取締役
交通運輸部会	部会長	喜谷 辰夫	トヨタカローラ栃木(株)	代表取締役社長
環境衛生部会	部会長	福田 治雄	(株)丸治	代表取締役
情報・サービス部会	部会長	里村 佳行	(株)ビッグツリー	代表取締役社長
企業活性化委員会	委員長	中津 正修	トヨタウッドユーホーム(株)	代表取締役社長
国際ビジネス委員会	委員長	加治 康正	加治金属工業(株)	代表取締役社長
ひとつづくり委員会	委員長	藤原 宏史	(有)藤原設計事務所	代表取締役
産業振興委員会	委員長	深澤 雄一	(株)フカサワ	代表取締役
宇都宮ブランド戦略委員会	委員長	笠原 正人	アサヒタクシー(株)	代表取締役
まちづくり委員会	委員長	金 中烈	(株)南大門ホールディングス	代表取締役会長
総務運営委員会	委員長	村上 芳弘	日東石油(株)	代表取締役

オブザーバー		
宇都宮まちづくり推進機構	総務部会長	佐々木宏幸
	魅力ある都心創造部会長	安藤 英夫
	まちづくりと交通部会長	森本 章倫
	事務局長	大木雄一朗